安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	36-9636-6	**版**	8.05
発行日	2024/12/17	**前発行日**	2024/07/09

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ キャビロン™ 皮膚用リムーバー ワイプ TP2

３M ストックナンバー
JH-2001-7657-8　JH-2001-7673-5　UU-0130-5819-1

7010686476　5550002522

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
リムーバーローション

1.3. 会社情報
供給者　スリーエムヘルスケアジャパン合同会社
所在地　本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門　医療用製品技術部
電話番号　042-770-3802

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分２
水生環境有害性 短期（急性）： 区分１
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分１

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル

炎　環境

ピクトグラム

危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには，製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	60 - 90
セルロース	9004-34-6	10 - 30
ソルビタンモノオレエート	1338-43-8	1.0 - 5.0
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	< 1.0

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。懸念がある場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
応急処置は不要。

眼に入った場合
ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気でその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
子供の手の届かないところに置くこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。　静電気放電に対する予防措置を講ずること。　環境への放出を避けること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。　着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。　輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。　容器を密閉しておくこと。　酸から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
セルロース	9004-34-6	ACGIH	TWA：10 mg/m3	

ACGIH ： American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA ： American Industrial Hygiene Association
ISHL ： 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値)： 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs ： 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

皮膚及び身体の保護具
保護手袋は不要。

呼吸用保護具

ばく露評価結果を基に、吸入ばく露を避けるために、呼吸保護具を選択、使用する。適切な種類の呼吸保護具の選択のため、保護具メーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	液体
色	透明淡褐色
臭い	やっと感知できるにおい
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*データはない。*
融点・凝固点	-68 °C
沸点，初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	-1 °C
蒸発速度	*データはない。*
引火性	引火性液体： 区分２
燃焼点（下限）	1 %
燃焼点（上限）	38 %
蒸気圧	4.6 kPa
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	0.763 - 0.766 g/ml
比重	0.763 - 0.766 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	0 %［*詳細：*なし］
溶解度（水以外）	なし。
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*
平均粒子径	*適用しない*
かさ密度	0.763 - 0.766 g/ml
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
高せん断・高温時

混触危険物質
未確定

危険有害な分解物

物質	条件
一酸化炭素	特段の規定はない。
二酸化炭素	特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
人体への健康影響は考えられない。

皮膚に付着した場合
製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ヘキサメチルジシロキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ヘキサメチルジシロキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 106 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
セルロース	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
セルロース	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.8 mg/l
セルロース	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ソルビタンモノオレエート	皮膚		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
ソルビタンモノオレエート	経口摂取	ラット	LD50 > 39,800 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	ウサギ	刺激性なし
セルロース	入手できない	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	ウサギ	軽度の刺激
セルロース	入手できない	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	In vitro	変異原性なし
ヘキサメチルジシロキサン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	13 週

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	6 時間
ヘキサメチルジシロキサン	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	モルモット	LOAEL 22,900 mg/kg	適用しない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチルジシロキサン	皮膚	肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4 mg/l	13 週
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	13 週
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 29 mg/l	15 日
ヘキサメチルジシロキサン	吸入した場合	心臓 | 内分泌系 | 免疫システム | 神経系 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/l	13 週

誤えん有害性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことが

あります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分１：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分１：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	緑藻類	実験	70 時間	ErC50	>0.55 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.46 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	緑藻類	実験	70 時間	ErC10	0.09 mg/l
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.08 mg/l
セルロース	9004-34-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ソルビタンモノオレエート	1338-43-8	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	ミジンコ	推定値	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	ミジンコ	推定値	21 日	水への溶解限界において毒	>100 mg/l

					性は見られない	

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	22.5 日（t 1/2）	
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	実験 加水分解		加水分解性半減期（pH7）	120 時間（t 1/2）	
セルロース	9004-34-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルビタンモノオレエート	1338-43-8	モデル 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	68 %BOD/ThOD	Catalogic™
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	76.5 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	2410	OECD305-生体濃縮度試験
ヘキサメチルジシロキサン	107-46-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.2	
セルロース	9004-34-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルビタンモノオレエート	1338-43-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	7.8	Catalogic™
カプリル酸トリグリセリド	538-23-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	7.4	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： １９９３ その他の引火性液体

輸送分類（IMO）：3　引火性液体

輸送分類（IATA）：3　引火性液体

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

消防法：第四類第一石油類
船舶安全法、航空法：引火性液体類
海洋汚染防止法：環境有害物質
薬機法医薬品、医薬部外品、化粧品は労働安全衛生法の対象外

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
ヘキサメチルジシロキサン	ヘキサメチルジシロキサン	適用しない	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１４：国連番号の標準フレーズ 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。